



報道関係各位
プレスリリース

令和元年 12 月 18 日
株式会社 AKICO

操作盤、圧力釜を一体化し、テーブル上に設置可能なサイズを実現
株式会社 AKICO、高性能かつ小型の卓上オートクレーブ販売開始
～2020 年 1 月 29 日～31 日「nano tech 2020」で本機を展示～

高圧化学装置を開発する株式会社 AKICO（所在地：東京都大田区 代表取締役社長：相澤政宏、以下「AKICO」）は、高性能小型卓上オートクレーブ「MAC-75」を 2020 年 1 月から販売開始いたします。価格は 280 万円（税別）から。

本装置は、操作盤、圧力釜を一体化し、テーブル上に設置可能なサイズを実現しました。当社ノンシールマグネットドライブ方式を採用し、高圧での攪拌を安全に行えます。また、攪拌機を冷却する水道設備のない場所での運転にオプションの攪拌機冷却ユニットを用意。さらに、内温・ヒーター温度・圧力を記録するためのオプションも用意しております。

近年、新素材の開発において超臨界水による合成が注目されています。これら、高温・高圧の化学反応の実験を行うためのオートクレーブは、サイズ・価格・法規 および、電源、水道、スペース等 設置環境の問題により、導入は手軽なことではありませんでした。ユーザー様から、研究室のどこにでも手軽に設置できる、本格的なオートクレーブが欲しいといった声を受け、2019 年コンパクト高性能な装置の開発に着手し、法規に抵触しない 75cc/100cc、100V 電源で 450°C/40MPa を作り出せる高性能小型オートクレーブを開発、2020 年 1 月から販売を開始することとなりました。

本シリーズの第二弾としては、チューブ型オートクレーブ用小型加熱器を開発中です。チューブ型オートクレーブは、超臨界水状態からの急速冷却が可能で、各種新素材の析出等が報告されています。

また、2020 年 1 月 29 日から 31 日まで、東京ビッグサイト西館「nano tech 2020」において、高性能小型オートクレーブ MAC-75 を出展、第二弾で開発中のチューブ型オートクレーブ用小型加熱器 を参考出品いたします。

製品について

型式	MAC-75 / MAC-100		
仕様 :	材 質 :	SUS316	
	容 量 :	75cc/100cc	
	最高温度 :	450℃	
	最高圧力 :	40MPa	
	サイズ(W/D/H) :	420×380×760mm	重量 : 28 Kg
	電源 :	100V	
標準装備 :	ノンシールマグネットドライブ攪拌機 ヘッドスタンド 保温カバー		
オプション :	攪拌機冷却ユニット 記録用端子 デジタル圧力計		

MAC-75 外観



攪拌機冷却ユニット外観



- ◆ nano tech 2020 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
- 展示会サイト : <http://www.nanotechexpo.jp/main/>
- 会期 : 2020年1月29日(水)~1月31日(金) 10:00~17:00
- 会場 : 東京ビッグサイト
- 出展ブース : 西1, 2ホール 2W-S29 (出展ブース: 海洋研究開発機構(JAMSTEC))
- 主催 : nano tech 実行委員会/株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

株式会社 AKICO について

1969年創業。高温高圧機器専門メーカーとして、全国の大学、120社の大手企業の研究所と直接取引するなど、産官学の各分野への多数の納入実績があります。各種超臨界装置・高温高圧装置の詳細は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.akico.com/products.html>

本リリース・プロジェクトに関するお問い合わせ先:

株式会社 AKICO

技術部 部長 本郷 一秋

〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目22番25号

電話: 03-3735-8888

E-Mail: hongo@akico.com

HP: <http://www.akico.com>